

News Release

2022年11月24日
NITE (ナ イ ト)独立行政法人製品評価技術基盤機構
法人番号 9011005001123

「こたつ」、「電気ストーブ」の事故

1. 事故の発生状況

2017年度から2021年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で「こたつ」、「電気ストーブ」の事故が13件^{※2}ありました。

(1) 県別の年別事故発生件数（表1）

表1 「こたつ」、「電気ストーブ」の製品事故の県別年別事故発生件数（2017～2021年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2017年度		1	1	3	5
2018年度		2	0	0	2
2019年度		0	1	1	2
2020年度		0	4	0	4
2021年度		0	0	0	0
合 計	事故件数	3	6	4	13
	火災件数	[2]	[5]	[3]	[10]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表2）

表2 「こたつ」、「電気ストーブ」の製品事故の県別被害状況別事故発生件数（2017～2021年度）

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	1	1
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	2	4	2	8
	製品破損	1	2	1	4
被害なし		0	0	0	0
合 計		3	6	4	13

2. 「こたつ」、「電気ストーブ」の主な製品事事故事例

(1) 電源コードに繰り返し屈曲等の外力が加わり、断線、スパーク発生により火災が発生した事故

・ 2019年12月（福井県、女性、80歳代、製品破損）

【事故の内容】

電気こたつの電源コード部を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者が電気こたつの保管時に電源コードをヒーター一部に巻き付けていたため、電源コードに繰り返し屈曲等の外力が加わり、内部の芯線が断線、スパークが発生して火災に至ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「コードをねじったり、無理に引っ張ったりしない。」旨、記載されていた。

(2) 製造時の不具合により内部配線が焼損した事故

・ 2017年4月（富山県、女性、年齢不明、製品破損）

【事故の内容】

オイルヒーターから発煙した。

【事故の原因】

内部配線の電源コードとファストン端子とのカシメ接続部で、製造時に不具合があったため、カシメ部で断線して異常発熱し、絶縁被覆が焼損したものと考えられる。

(3) 施工時業者の施工不良により配線部から出火し火災が発生した事故

・ 2018年12月（富山県、男性、40歳代、拡大被害）

【事故の内容】

電気温風機を使用中、配線部から出火し周辺を焼損した。

【事故の原因】

施工業者が電気温風機に屋内配線を接続する際、圧着端子にカシメ不良があったため、接触不良により異常発熱し、焼損したものと考えられる。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 樋口、塚谷

電話：076-231-0435

以上